

い ず も 市 議 会 だ よ り

No. 12

平成20年(2008)4月24日



一の谷公園(撮影:広報委員会)

●議会の動き	2	●一般質問	10
●委員会報告	3	●視察報告	18
●請願・陳情・意見書	5	●議会傍聴・編集後記	20
●施政方針質問	6		

3月定例会市議会 報告

平成20年度出雲市一般会計予算など90議案を可決

一般会計674億円、特別会計412億円

3月定例会市議会では、執行部から87件の議案が提案されました。その内容は、「平成20年度(2008)出雲市一般会計予算」など予算案件31件、「『日本の心のふるさと出雲』応援寄付条例」「出雲市長の資産等の公開に関する条例」の一部改正などの条例案件30件、「公の施設の指定管理者の指定について」「出雲市とアイルランド国ダンレアリー・ラスダウン市との友好交流都市の協定締結について」など22件、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める人事案件など4件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案として、「出雲市議会会議規則の一部を改正する規則」「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律の見直し等を求める意見書」の3議案を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成19年度 第5回 出雲市議会(定例会)会期日程

開会 平成20年(2008)2月20日(水)

閉会 平成20年(2008)3月17日(月)

会期27日間

2月20日(水) 本会議(開会、施政方針表明、議案上程・説明)

22日(金) 本会議(施政方針に対する会派代表質問 1日目)

25日(月) 本会議(施政方針に対する会派代表質問 2日目)

3月 3日(月) 本会議(一般質問 1日目)

4日(火) 本会議(一般質問 2日目)

5日(水) 本会議(一般質問 3日目、議案質疑、委員会付託)

7日(金) 総務委員会

10日(月) 文教厚生委員会

11日(火) 環境経済委員会

12日(水) 建設水道委員会

13日(木) 庁舎建設特別委員会

14日(金) 文教厚生委員会

17日(月) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

○一般質問などの質問回数制限を撤廃

出雲市議会では、これまで議員の一般質問と施政方針に対する会派代表者質問における質疑は、同一議員につき、同一議題について3回までと定めていました。

しかし、本会議における議論をさらに充実させ、議会の活性化を図るため、「出雲市議会会議規則」の一部を改正し、質問回数の制限を撤廃することとしました。

○一般質問でのパネルの使用を認める

これまで一般質問では、質問内容について理解が得られるよう、必要最小限の「冊子」や「新聞の切り抜き」の使用を認めていましたが、3月議会からは、「パネル」や「写真」の使用も認めることとしました。3月議会では、2人の議員がパネルを使用し、質問を行いました。



◆◆常任委員会報告◆◆

意見を付して議案十四件を可決

総務委員会

審査の付託を受けた議案十四件について、次の意見を付したうえ、採択すべきものとなりました。

①一般的な集会所の補助額は、対象経費の二分の一以内で五百万円が上限となっている。これに対し、「公共事業関連集会所」などでは、補助金限度額は八百万円で補助率の規

定はない。市民に不平等感を与えないよう、補助要綱の見直しを検討すること。

②全市の防災情報システムについて、いまだ全体像がはっきりしない。基本理念を早急に構築し、整備方針を明らかにすること。

③歳入で計上された、土地売却収入、二億六千四百六十六万円につ

いて、売却の見通しが立っている土地はないとのことである。早期に売却可能な土地を整理し、適切な価格で売却し、歳入予算額を確保すること。

④合併以降、何度も市役所組織の見直しが行われており、市民には定着せずわかりにくい。きちんとした将来

展望に基づく、安定した組織編成を望む。また、新しく設置される「観光政策推進本部」と「産業観光部」について、同じような分野の業務を担当することになる。業務のすみ分けを行い、混乱が生じないようにすること。

佐田地域内の福祉施設指定管理者の指定について集中審査

文教厚生委員会

佐田地域内の福祉施設の管理を、新たな社会福祉法人に指定管理者として指定することについて、議会の議決を求める議案六件を集中審査しました。そのうち四件は、現管理者から管理者を辞退するとの申し入れがあり、残期間を非公募により管理者を指定するものです。なぜ非公募なのかなど疑問の声があり、結論が出ず、日をあらためて委員会を開催しました。新法人

設立の経緯、事務手続きなど詳細な説明、必要な書類の提出など求め、集中審査をしました。

「今後、すべての公の施設の指定管理者選定において、公募、非公募を決定する際の判断基準を明確にすること」、「他のプール、温泉施設、福祉施設など市民の健康や生命を預かる施設を管理運営するに際し、執行部、指定管理者双方に責任の重大性を認識されるよ

う強く求める」、「特定の法人が優遇されているのではないか、などの疑義を招くことが決してないよう慎重な対応を求める」以上の意見を付して可決しました。なお、一部委員から、否決すべきとの意見がありました。

平成二十年度一般会計当初予算のうち、債務負担行為で、上塩冶築山古墳駐車場など

地取得事業が計上されました。これは、国指定史跡の上塩冶築山古墳が個

環境経済委員会

上塩冶築山古墳駐車場など用地取得事業を可決



新たな社会福祉法人が指定管理者となった佐田地域内の福祉施設



築山古墳見学巡路

人の土地にあり、現在進入路も駐車場もなく、民有地を利用させてもらい見学をしている状態で、かねてから駐車場などの整備要望があったものです。

現在、建設中の県道今市古志線側に、面積約千平方メートルの用地を取得するため、六千五百万円の債務負担行為を設定するものです。

委員からは、「駐車場などの整備は必要である」と認められるが、有利な起債の活用や借地とするなど、その手法についてはさらに検討した上で事業を進めるべき」との意見が出されました。審査の結果、原案のとおり可決しました。

次に、「出雲市とアイルランド国ダブリン県ダンレアリー・ラス

ダウン市との友好交流都市の協定締結について」の追加議案です。2002 FIFAワールドカップ・アイルランド出張キャンペーンをきっかけに、少年サッカーチームが毎年交流試合や相互訪問を重ね

てきました。そうした経過をふまえ、ダンレアリー・ラスダウン市長から自治体相互の交流を行いたい旨の要請があり、協定の締結を原案のとおり可決しました。

地方道改修事業など 生活関連事業の予算を可決

建設水道委員会

本委員会に付託を受けた案件は、平成二十年度一般会計予算をはじめ、議案二十二件、陳情二件でした。

落排水建設事業などが計上されました。審査の結果、原案のとおり可決しました。

平成二十年度一般会計のうち、歳出の主なものとして、農林水産業費では、林道整備事業、商工費では、泉源活用施設整備事業、土木費では、地方道改修事業、街路事業、神門通り広場・交通広場整備事業、木造住宅耐震化促進事業、街なみ環境整備事業、公共下水道河下地区特定環境保全公共下水道事業、宇龍・坂浦地区の漁業集

次に、出雲市景観条例ほか、七件の条例改正については、いずれも原案のとおり可決しました。

また、陳情案件について、「国道431号バイパスおよび河下港と中国横断道を接続する南北アクセス県道の早期整備などを求める陳情」と、「湯谷川改修に係わる移転対象家屋補償と用地取得契約期日の完璧な履行を求める陳情」は、現地視



地方道改修事業が行われた市道神門87号線

◆特別委員会報告◆

新庁舎供用開始に向け 関連予算を可決

庁舎建設特別委員会

新庁舎建設整備事業と出雲中央広場（仮称）整備事業に係る平成十九年度第六回補正

予算および平成二十年度一般会計予算について審査しました。

第六回補正予算は、



建設工事が進む新庁舎

新庁舎整備事業の平成十九年度の決算見込みによる工事費一千万円の減額および、市債の減額に伴う庁舎整備基金繰入金の増額補正をするものです。

次に、本格的な工事が始まる新年度の新庁舎整備事業費として、五十五億九千万円が予算計上されました。その歳出の内訳として、建設工事の継続事業分四十七億七千万円、太陽光発電設備など付帯工事費二億九千五百万円、電算システムなどの移設や、移転経費など

一億四千五百万円、備品購入費二億二千万円などです。また、土木費では、新庁舎に隣接する出雲中央広場（仮称）整備事業費として、一億三千五百万円が提示されました。

一方、歳入では、太陽光発電設備にかかる国庫補助金四千九百五十万円、庁舎整備事業繰入金九億二千六百三十万円などが計上されました。

いずれも、原案のとおり可決すべきものとなりました。

請願・陳情の審議結果

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
17	学校給食の徹底した安全施策指針の確立を求める陳情	出雲市国富町 より良い教育環境をさずく会 代表 木佐 宏	不採択に 全員賛成
	なぜ不採択	現在の学校給食センターでは、陶磁器の使用や蒸気洗浄器の導入は極めて困難です。また食材は、できる限り地元産の食材を使用し、安全で安心な学校給食づくりに取り組まれており、検討中の給食センター再編整備計画では、自校方式での給食施設の導入計画がないことから、賛同できないと判断しました。	
18	国道431号バイパスと河下港と中国横断道を接続する南北アクセス県道の早期整備等を求める陳情	出雲市国富町 平成の世直し人 木佐 宏	不採択に 全員賛成
	なぜ不採択	国道431号バイパスと美談地区の県営ほ場整備事業の一体的な整備は困難な状況であると判断しました。また、河下港から中国横断道までのアクセス道路の整備は、十六島直江停車場線などの活用を基本とした整備を図るよう島根県に対し要望していることから、提案どおりのルートは困難であると判断しました。さらに国道431号東林木バイパス区間は、現在島根県において本路線の整備の方向性が再検討されていることから、賛同できないと判断しました。	
19	湯谷川改修に係わる移転対象家屋補償と用地取得契約期日の完璧な履行を求める陳情	出雲市国富町 平成の世直し人 木佐 宏	不採択に 全員賛成
	なぜ不採択	湯谷川改修については、島根県の公共事業費の縮減などにより、事業スケジュールを大きく変更せざるを得なくなったところですが、また、糸川屋橋付近の家屋補償、用地買収は契約されたものではないため、履行を求めることはできません。事業主体は島根県であり、多くの公共事業を公平公正に推進する上で、慎重な検討を要するため、賛同できないと判断しました。	

【継続中の請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
11	「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の見直し等を求める意見書の提出等を求める請願	松江市東津田町 性同一性障害を知る会「紫の風」 代表 上田 地優	採択に 全員賛成

【継続中の陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
15	「ゆめタウン出雲」の出店に伴う市道四絡30号線の歩道設置等についての陳情	出雲市大塚町 大塚南5町内 自治会長 黒田 眞一 他13名	趣旨採択に 全員賛成
16	島根原子力発電所立地隣接危険圏域に係わる防災避難ルートの確立と防災道路新設整備費用負担を中国電力に要求と安全協定締結を求める陳情	出雲市国富町 平成の世直し人 木佐 宏	継続審査に 全員賛成

意見書の審議結果

【意見書】

意見書番号	件名	審議結果
10	性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律の見直し等を求める意見書	原案可決に 全員賛成

市長施政方針について各会派代表者が質問！

平成二十年二月二十日の本会議初日、平成二十年の市政運営の基本方針と重点施策について、市長から表明がありました。これに対し、二月二十二日と二十五日の二日間、九会派から代表の議員が一名ずつ次のような質問を行いました。その中から、一人一問ずつ選んで掲載しています。内容は、質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

（◎が選んだ質問）

は、十五億五千六百万円と算定しました。
③阿國座の開館計画は、市民に疑問視されたり、反対されたり、よくわからないという声があり、慎重を期し、一年延期し、二十三年の春としたいと考えます。
検討資料の外部委託については、現段階で計画を持っていません。

平成クラブ 広戸 恭一

◎「出雲阿國座」建設の是非を問う

●二十年度予算案の特徴と、編成方針およびその取り組みについて
●施策実現には計画的な行財政の運営が求められるが、中長期の財政展望を問う



ような理由か。

また、一月二十二日に
出雲市議会自民協議会として行った「出雲阿國座建設」に関する
申入書についての回答
はいかに。

③阿國座の完成、これら
落としを、当初予定より
先延ばしし、その間
正確で精密な調査を
外部委託し、その資料
を使い、議会で検討し
たいがどうか。

市長

①昨年十一月の議会の
勉強会に、中間的な試
案という意味で、資料
として出したのが、メ
ディアに報じられまし

た。現段階の算定では、
約二百万円の収益とな
ります。

②国の三大プロジェクト
事業も峠を越し、公
共事業の国や県の発注
も厳しい中で、観光産
業は地域経済発展の即
効性があります。観光
資源を活用し、阿國座
を動の交流拠点とし、
市内外、全国からお客
さまを集積し、出雲市
の経済発展を図りま
す。このことが、市民
の所得向上、担税力の
強化につながり、医療・
福祉・サービス財源の
確保ともなります。阿
國座の経済波及効果

政雲クラブ 小汀 英久

◎「日本の心のふるさと出雲」 応援寄付条例を伺う

- 二十一世紀産業都市の創造
 - 二十一世紀出雲神話観光大国の創造
 - 二十一世紀都市交流拠点の創造
 - 二十一世紀環境先進都市の創造
 - 二十一世紀人材育成都市の創造
- 創造
●二十一世紀健康文化都市の創造



「日本の心のふるさと
出雲」応援寄付条例
について伺う。

特に出雲市出身で、
全国の心ある方々か

ら、志をいたたくとあ
るが、その使用目的、
目標額を伺う。

市長

税制改革の中で、ふ

①管理運営費が赤字と
報道されたが、そのと
おりであれば、建設に
反対と言わざるを得な
い。
これは、平成クラブ
八名の総意である。精
密な調査と、冷静な判

断を求める。
②出雲市民会館や出雲
ドームとは全く違った
性質と内容の阿國座
が、管理運営費の面
で赤字で推移するとの計
画であるが、阿國座建
設にかける熱意はどの

るさと納税の制度が導入される予定です。

この制度は、従来の制度と違い、寄付者に対して税制面で優遇します。

出雲市でも、ふるさと出身の皆さんとして頑張っておられる方々をはじめ、日本のふるさととして出雲市の発展に心を寄せていただく全国の方々を対象にアピールして寄付金を

お願いするものです。

目的としては、出雲市の歴史を全国に発信し、出雲市の存在感

明政クラブ **松村 豪人**

◎**老朽化が進む平田の学校施設をどうする**

- 「二十一世紀産業都市の創造」から
- 「二十一世紀出雲神話観光大国の創造」から
- 「二十一世紀都市・交流拠点の創造」から
- 「二十一世紀環境先進都市の創造」から
- 「二十一世紀健康文化都市の創造」から



学校施設の整備について、平田地域の校舎

園舎の改修は進んでいるのか。陳情や要望な

を高め、寄付したかいがあったと思ってもらい、その財源で出雲市の福祉・産業・教育・環境などの充実発展を目的にして、この寄付条例を定めんとするものです。

目標額については、お願いする立場から目標額を設定する性格ではなく、本当に心を寄せていただき、ご理解していただく方々にアピールしていく、この努力が必要かと思えます。

どのあったものについて、その後の取り扱い。また、見込みはどうか。

市長

平田地域の小中学校、幼稚園は、全体的に老朽化が進んでいる施設が多く見受けられます。そのため、特に合併後、市全体の修繕リフレッシュ事業費予算の四三％を、平田の施設に充てて対応しています。

その中でも、陳情のあったものとして、建築後年数が経過した平田小学校、平田幼稚園は、応急修繕対応としてそれぞれ一千万円余りを投じ、改修工事を

行ってきました。今後、緊急整備が必要な箇所は、引き続き対応します。

また、基本的には校舎建て替え、改築の計画はあります。これらについては、市全体の学校施設整備計画の中で取り組んでいきます。

ただ、当面の大きなプロジェクトとして、旭丘中学校の移転改築に全力を挙げます。平成二十年度には、都市計画法に基づく開発許可を受けて用地取得を行い、早期に開校を目指して進めているところです。

市民・新生クラブ **原 隆利**

◎**大型投資を抑え、財政の健全化を**

- 十一年間の西尾市長の市政運営について伺う



島根県内市町村の財政状況は、全国最低だ

と思う。合併特例債を活用しての大型公共事

業が次々と計画されているが、財政状況は、悪化の一途（いっと）だ。市民は、大きな不安を抱いている。大型投資を抑え、財政の健全化に努力すべきと考えるが、いかがか。

また、県の発表によれば、出雲市においては財政状況の公表がなされていない。情報公開は時代の要請だ。

市長

地方分権が叫ばれて久しいですが、国は今の制度を根本的に考え直す必要があると思います。財政当局や、国会議員は意識を変えていただいて、地方分権を本当にやる決意を示して欲しい。制度の大転換、大幅な地方への権限移譲、国の機関の整理統合などを積極的に進めていただきたいと思っています。

現在のような状況では、地方の自主的、主

体的な事業展開などによって、豊かな街づくりなど、とても無理な状況です。これは、道路の問題だけではないのです。

私たちは「21世紀ブランドデザイン」に沿って、社会資本の整備を進めつつ、地域にある声を大切にしながら、新しい財政健全化法のもとでも努力の余地はあると考えています。公債費比率は平成二十三、二十四年にピークを迎えますが、その後は好転させる努力をします。

情報の公開は、かねてから積極的に行っています。しかしながら、データの県がまとめられる時期とずれがある関係で、このような発表になっていきます。今後はこのようにならないように対応します。

大社クラブ **長廻 利行**

◎観光地「日御碕」の
振興策を伺う

●観光諸施設の総合化について



観光を取り巻く社会情勢は大きな転換期を迎え、観光地「日御碕」の往時のにぎわいからすると、衰退の傾向にある。さらに、平成十六年一月の国民宿舎眺瀾荘閉鎖が追い打ちをかけ、致命的な状態である。

本年二月に日御碕地区住民により西尾市長に提出された「日御碕地域の観光振興に関する要望書」の中でも、眺瀾荘跡地の利活用の早急な樹立とその実現についての切実な要望がなされている。その中では、開発希望者からの公募型「プロポーザル方式」なども含め活用について検討されれば、地元住民も協力推進体制を取るとされている。

段階で公募をかけてみてはどうかと考えているが、具体的な計画があるか伺う。

市長
ご指摘いただきましたように、あれだけの景観美と壮大なる自然美の中で、やはり眺瀾荘の跡地をそのまま放置するというのもつたいないことです。地元の皆さん方から、たびたびご要望、ご提案をいただいております。

このことを受けて、早急にこの跡地を活用して、宿泊機能を兼ね備えた拠点的なものをつくる方がいないかどうか全国公募をやってみたいと思います。今後、この跡地の活用については、地元関係者ともよく協議しながら、具体化に向かってさらに努力します。

河南クラブ **荒木 孝**

◎県道大社立久恵線の
改良整備を強力に
進められたい



道路特定財源は、揮発油税などの暫定税率の堅持、廃止、一般財源化が大きな論争、競争となっている。道路整備が遅れている島根県や出雲市にとって

は、今しばらくは特定財源暫定税率の堅持が必要と考える。

島根県の財政は、大変厳しい状況である。しかしながら、合併支援道路として位置付けられている「県道大社立久恵線」をはじめ、地域内幹線道路の改良整備を強力に推進することが重要であり、島根県に対し、さらなる要望活動が必要と考える。

地元の乙立、神門地区をはじめとして関係者で構成されている「県道大社立久恵線」改良整備促進期成同盟会が設立されてから、早くも二十一年が経過しよ

うとしている。そろそろ改良整備が始まって良いのではと地元の皆さんをはじめ、たくさんの方々の方が期待が非常に大きく膨らんでいる。地域内幹線道路の整備について、伺う。

市長
地域内幹線道路の整備が進まないことに、私も心を痛めています。合併して最大の道路事業は「県道大社立久恵線」、次に「県道出雲平田線」です。この二路線が、合併支援道路です。改良整備事業が一路線もできない県財政ですが、財源は作るものであり、このままでは元気が出ません。「県道大社立久恵線」の改良整備がなるかならないかが、県政の最大の試金石と考えています。今後、県知事に明確に早期着工をお願いしていきます。

公明党 **勝部 順子**

◎福祉タクシー事業の対象者が
大幅に拡充

- 二十一世紀人材育成都市の創造
- 二十一世紀環境先進都市の創造
- 出雲阿國座（仮称）建設について



新年度から取り組まれる福祉タクシー制度の拡充について伺う。

この問題については、旧出雲市のときから取り組んできた課題で大変に喜んでい

る。拡充により、身体障害手帳一級の方に加えて二級の方が対象になり、障害をお持ちの方の社会参加や、自立が進むことが大いに期待できる。

せっかくの制度の拡充だから、対象者への周知徹底を何よりも強く望む。併せて、どのように進められるのか伺う。従来、対象者でありながら、タクシー券が使われていない方もあった。障害者の方に喜んで使っていただ

けるよう、配慮されることを強く望む。

市長
このたび拡充する新たな「福祉タクシー事業」の対象者は、在宅の重度障害者のうち、身体障害手帳二級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳一級を所持されている方です。該当する手帳所持者総数は、今年一月現在で、約千八百人です。これらの方で施設入所、長期入院の方を除く方に新しく福祉タクシーを利用できる道を開きました。

制度の周知については、新たに該当する手帳所持者などへ直接通知します。また、市の広報や障害者福祉サ

ビジネス事業者、民生児童委員会協議会およびタクシー事業者に対する説明会の開催など、関係機関への連携を密にし、制度改革、改善の円滑な周知に努めていきます。

日本共産党 **大國 陽介**

◎市民合意のない
出雲阿國座計画は中止を

- 「財政運営の確立」は市民のくらし応援の立場で
- 新年度からはじまる「後期高齢者医療制度」について
- 総合医療センターの「独立行政法人化」は見直しを
- 「出雲市生活・消費相談センター」について



出雲阿國座の建設計画に対して、批判の声が日を追うごとに高まっている。示されている計画では、出雲市の財政負担分十一億八千四百万円を含む四十二億円の莫大(ばくだい)な建設事業費が予定されている。出雲市のお金であるうが国のお金であろうが、市民・国民の税金であることに何ら違いがあるわけがなく、一円たりともムダにでき

るものではない。収支計画案が示されたものの、その事業内容の実現性は疑わしく、不信は一層募るばかりだ。経済効果十五億円余り、百五十人の雇用創出との試算が示されているが、これらの根拠はまったく不明だ。この負担が出雲市の財政難に追い打ちをかけ、ひいては住民負担の増大につながることは明白である。

市長は、阿國座の建設に固執しておられるが、市民の声は明らかに「ノー」であり、市民合意のない阿國座計画は、中止すべきであると考えているが、いかがか。

市長

石見銀山にみられるように、観光は即効性が高い分野であり、出雲市の経済に恩恵を与えるような観光戦略が出雲阿國座です。

文化や歴史的資源を活用して、地域の住民みんなが喜びを分かち合うという効果もあります。所得を上げ、歳入増加に貢献するものは、一見大変なように見えますが、ためらうことなくやるべきものです。合併特例債など、財源が国などから支援される中での一つのチャンスと考えています。

市長

市の経済産業を發展させること、大変期待をしている。そこで、出雲ブランド課のねらいと役割を伺う。

どの商品について販路を調査します。あるいは、具体的な見本市などに出掛け、企画して実践の場でお話します。また、商品を買っていただくような企業へ出掛け、販路拡大について教えてもらうなど具体的な市の外でやりながら、市の中ではいわゆるブランド商品の具体的な活用の舞台を提供します。例えば、そばまつりや食の祭典などの事業の中で率先垂範、サービスを提供するというような仕事など、各般にわたっての業務があります。

市民新風会 **多久和 康司**

◎出雲ブランド課の役割と
取り組みは

- 「二十一世紀出雲神話観光大國の創造」について
- 「二十一世紀都市・交流拠点の創造」について
- 「二十一世紀環境先進都市の創造」について
- 「二十一世紀人材育成都市の創造」について



出雲のブランドを全国に知ってもらうためには、ブランド化を図ることであり、ブランドには、歴史・文化・

芸術・スポーツイベントなどの特産品がある。このたび、出雲ブランド課を設置し、出雲



市政のここが聞きたい

一般質問

3月定例会市議会では18人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

高野 成俊 議員(11ページ)

- ◎出雲阿國座をはじめとした、大型投資について

川上 幸博 議員(11ページ)

- ◎子どもたちの安全、安心について
- 景観計画について

米山 広志 議員(11ページ)

- ◎新ビジネスパーク
- コミュニティセンター
- 指定金融機関等の指定

板倉 一郎 議員(12ページ)

- ◎出雲観光振興におけるフィルムコミッションについて
- 斐川町との関係について

石川 寿樹 議員(12ページ)

- ◎農業活性化への取り組み

直良 昌幸 議員(12ページ)

- ◎財政改革の促進に向かって
- 市内小・中学校教育の展望について

曾田 盛雄 議員(13ページ)

- ◎農地・水・環境保全向上活動支援事業について
- 護岸対策について
- 温暖化対策と食料の安全対策について

長岡 幸江 議員(13ページ)

- ◎重点施策事業と財政運営について

多々納 剛人 議員(14ページ)

- ◎阿國座建設に対する説明責任と課題について
- 出雲市に住み良さ指標を設けてはどうか

福代 秀洋 議員(14ページ)

- ◎交通安全への取り組みについて
- シカの頭数管理について

板倉 明弘 議員(14ページ)

- ◎県立高等技術校の再編整備計画で廃止される出雲校の美容科、理容科の存続を求める動きについて
- 市営の温泉施設5館、温水施設3館の運営状況について

杉谷 寿之 議員(15ページ)

- ◎産業振興施策について
- 市税の滞納問題について

山根 貞守 議員(15ページ)

- ◎出雲市ふれあいサロン事業について
- 地籍調査の測量図「不動産登記法第14条地図」の精度について

牛尾 尚義 議員(16ページ)

- ◎自治基本条例を制定すべきではないか
- 子育て支援はどこまで想定しているか

萬代 弘美 議員(16ページ)

- ◎幼稚園臨時、パート職員などの雇用条件の改善について
- 出雲エネルギーセンターの(日立による保証期間終了後の)維持管理と処理経費の負担増について
- 原油高騰から市民生活と営業を守る緊急対策の実施について

遠藤 力一 議員(16ページ)

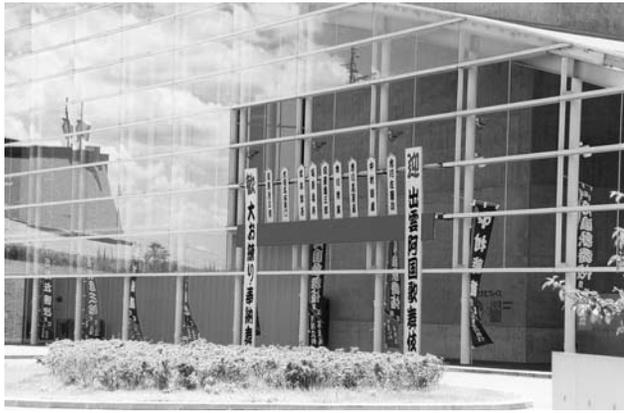
- ◎限界集落とその周辺課題について問う
- 生活・消費相談センターについて

珍部 全吾 議員(17ページ)

- ◎出雲市の景気状況について

山代 裕始 議員(17ページ)

- ◎国道9号出雲バイパス開通による周辺への影響について
- 出雲阿國座の建設について
- 出雲市における教育の現状と課題について
- 出雲の教育について



うらら館での歌舞伎公演

高野 成俊
出雲阿國座建設を問う



四十二億円の事業費で大社町に建設が予定されている、出雲阿國座に関しては、市議会や市民からも建設の是非について議論がされている。

このようなことから、市長は市民の理解を得るため、開館時期を一年延長すると表明された。事業計画の見直しや再考の考えがあるのか

伺う。また、十二月議

会までに可決された出雲阿國座の建設関係事業費は、実施計画、用地取得ほか、総額四億八千七百二十万円になる。市民合意を得るため、阿國座の開館を一年延長するのとこのであれば、当然、事業と予算の執行は一時保留、事業は一時中断すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 建設の懸念については、財政の仕組みとか、市政の今後の姿とか、現状をもう少しわかりやすく丁寧に情報提供し、説明させていただければ、必ず理解をいただける。

けると思います。夏までの半年間で、市政フォーラムも含めて、誠心誠意、私自身、努力したいと思えます。

川上 幸博

学校事務の共同実施により
きめ細やかな教育を



など、情報提供の努力を重ねていきます。予算は一時保留ということではなく、これを粛々とやる中で、理解を得るべく最大の努力をしていきたいと思えます。

事務職員と教員との事務分担が行われているが、教員もかなりの事務を受け持つっており、負担を感じている。

事務の共同実施について伺う。

教育長

事務職員は、原則各校一名配置されているが、さらに備品管理や文書管理などが一元化されれば、事務職員の負担軽減になる。それによって、得られた時間を活用すれば、教員の負担の軽減につながり、子どもたちと接する時間が多くなり、基礎学力の向上や豊かな人間形成もできると考える。

平成十七年度に、学校事務共同実施検討委員会を設置し、検討内容が提示されました。平成十八年度、市内を五つのグループに編成し、共同実施に取り組みました。今後は、より効率化をめざすため、新庁舎内に、センター方式で一元化を図り、人的支援も検討していきます。さらに、教育委員会として、教員が子どもと向き合う時間の確保に向け頑張ります。

米山 広志
新ビジネスパークの総事業費は



新ビジネスパークは、平成温泉の北側の山陰自動車道出雲インターチェンジ（仮称）周辺に開発面積二十五ヘクタール、分譲面積十二ヘクタールで整備が計画されている。

- ① 予想される総事業費。
- ② 地権者数（個人、団体）。
- ③ 分譲開始時期と分譲

価格。
④ アクセス道路や用排水施設などの基本インフラ整備。
⑤ 現在までの進捗状況を伺う。

市長

① 現段階で用地費、造成費およびアクセス道路などのインフラ整備費など、おおむね三十七億円相当と見込んでいます。



神門、神西地区にまたがる新ビジネスパーク予定地

② 個人が三十二名、法人などの団体が二団体です。今後、実施設計および用地測量を行うことにより正確な地権者が確定します。
③ 相手があつてこそ立ち上げます。立地企業のめどを



制作会見が行われた映画『BATADEN』

板倉 一郎
フィルムコミッションの立ち上げと
映画『バタデン』に支援を



立てることが先決です。整備事業に着手すれば、事業期間は四年度の見込みです。分譲価格は、坪五万円程度を見込んでいます。

④アクセス道路は、現道を改良整備する方向で検討しています。用排水施設は、現在の供給処理状況を踏まえ、

適切な施設整備をします。他の基本インフラは、整備基本計画の中で明らかにします。

⑤昨年の七月と九月の二回、神門地区、神西地区で地元説明会を行い、整備基本計画の策定作業を進めています。

地域の情報発信、ロケ地のツアーによる観光客の増加、制作を通じての地域文化の創造・向上などがあります。

現在、映画「バタデン（一畑電車物語）」の制作が、出雲市（旧平田市）出身の錦織監督のもと計画されている。映画を通して、出

雲地方を大いにアピールできると考える。出雲市として、協力する考えはないか伺う。

光振興に果たす役割が非常に大きいと考える。

ロケを誘致し、撮影を支援するフィルムコミッションに対する考え、また出雲市で、市民団体と協力し、組織を立ち上げてはと考えるが、市長の考えを伺う。

市長

ロケ誘致のメリットは、

石川 寿樹
農業3F事業



①農業3F事業は、本年度末で二期目が完了する。これまで農業活性化の面で、どのような成果があったのか。

しかしながら、これからは、生産から加工・販売、すなわち農産物をいかに有利に販売していくか、いわゆる「地産外消」に重点を置くべきと考えるが、市長の所感を伺う。

市長

③これまでの事業は、どちらかと言えば農業生産にかかわることに重点が置かれていた。

から三カ年事業として取り組んでいる事業です。



広島県で開催されたアンテナショップ「いずものお店」

②平成二十年度の新たなニューとして、県が創出した事業と連携し、除草剤を使用しない米と、減農薬・減化学肥料による園芸作物の栽培に資する機械・施設な

これまで、集落営農組織の設立促進や地区担い手育成ビジョンの作成、生産面積の拡大や労力軽減に資する機械・施設の整備、優良メス牛や高能力乳用牛の導入による繁殖・酪農の経営強化などに取り組んできました。

さらに、新年度から「出雲ブランド課」を設け、県外に向かっての農産物などの販売についても、強化していくことにしています。

直良 昌幸
財政改革の促進に向かって



地価が下落する今日、出雲市土地開発公

社と市の遊休地の売却促進とその利活用につ



電鉄出雲市駅に隣接する未処分遊休地

いて伺う。また、新庁舎完成後の現庁舎の取り扱いについても伺う。

市長

現下の情勢の中で鋭意処分に努めていますが、平成十九年度末で公社の未処分遊休地は簿価にして、約三億四千七百万円、市の遊休地は、約三億三千七百七十万円が残る見込みです。

特に市有地については、今後、市営住宅、幼稚園などの建て替え

移転に伴って、旧施設跡地などまとまった土地も増えていきます。喫緊の課題として、順次、広報誌や新聞、チラシ、ホームページなどを通じて周知を図り、民間事業者の協力も得ながら、積極的に一般へ売却する方針です。

また、住宅に適する土地については、定期借地権付きの住宅用地として、民間事業者の協力も得ながら開発していくことも、試みます。

また、住宅に適する土地については、定期借地権付きの住宅用地として、民間事業者の協力も得ながら開発していくことも、試みます。

現庁舎の取り扱いについては、新年度中に具体的な利活用の方策を検討します。



農業用ため池修繕作業（平田地域 鍋池）

曾田 盛雄
農地・水・環境向上対策は



農業従事者の高齢化、農産物の価格などの下落、耕作放棄地の増加など、農業をとりまく厳しい現実がある。こうした点を踏まえて、農村社会の崩壊をくい止めるため、政府が平成十九年度から取り組んでいる「農地・水・環境保全向上活動事業」の現況と課題点を伺う。

現時点で採択承認された組織団体数は、島根県全体で四百三十九組織、出雲市六十組織。内訳は出雲と平田がそれぞれ二十三、佐田が十二、多伎が二組織です。総支援金額は、島根県全体で平成十九年度は八億四千七百三十万円で見込まれており、出雲市においては、九千五百九十八

- 産業振興部長**
- ① 現時点での組織団体数、支援額、加入面積は。
 - ② 県土連のかかわりを減らして、事務の簡素化を図る必要があるのでは。
 - ③ 来年度以降の新たな加入希望農家と、団体の意向調査の実施と、促進への考え方は。

新市発展を目指す基本政策について、どのような針路設計のもとに市民のニーズに込め、市民の福祉向上に反映し、未来に希望の持てる事業策定をされたのか。さらに地方分権社会となり、地域再生が望まれる今、行政に託されることは、ある物をいかしていくという方向を考えていくことである。

また、財政再建は、お金の循環であり、自然の再生は物の循環である。人間の再生、人々の循環、これがセットでつながる形での自治体の政策が不可欠である。

本市の政策は、自立をめざし、市民と共有・協働していける事業計画と、財政運営なのか伺う。

市長

財政健全化法に基づき、持続可能な、安定的財政運用を展望し、公債費比率を二三%、可能な限り新たな起債発行を抑制します。徹底した収支改善を図り、財政調整基金と減

万円、県全体の一一・三%です。支援の対象農地面積は、県全体で一万九千十六ヘクタール、出雲市では二千二百二十三ヘクタールで、一一・七%です。

② 昨年末、農林水産省から事務の簡素化が示され、申請書類や報告

書類、日報、写真など資料事務関係についてはおおかた半分以下に削減になりました。

③ 新規の取り組みを希望される団体へは、直接出掛けて説明会を開催するなど、新規の組織設立に向けて取り組んでいます。

長岡 幸江
いかなる行財政改革を講じての事業計画と財政運営か伺う



債基金を合わせた残高を二十億円以上確保します。新出雲市発展を軌道に乗せるには、最初の五年間が重要であり、人件費抑制、補助金・負担金の見直し、組織・機構の再編強化などを積極的に推進し、力が出る市政運営

の行財政改革に努めています。多様な行政需要にも配慮しつつ、新庁舎事業、観光振興などの整備を重点的に進め、他方、子育て支援や定住促進など、めり張りを効かした予算編成としたところです。

多々納 剛人

出雲阿國座建設に対する説明責任と課題



①阿國座建設の必要性について、経済効果などを客観的に説明する必要がある。阿國座の施設の事業収支について、考えを伺う。
②観光振興計画の策定は、極めて重要なことだと強く感じるが、策定計画はないのか。また、詳しい現状分析により、課題を明確にするために観光動向調査などを外部に委託してどうか。
③阿國座建設計画の疑問について、市長の認識と、その説明責任をどのようにして果たさ

れるつもりなのか伺う。

市長

①興行として行う収益事業については、何としても収支が黒字になるよう努力します。非収益事業としては、市民会館と同様な財源措置を行う考えです。収益事業と非収益事業のトータルでは、経営努力により黒字化できる経営計画で進める決意です。
②現在、県や外部の調査機関のデータを活用しながら、観光戦略づくりを行っています。

滞在型の戦略を努力目標とし、全体としての観光経済戦略を今後さらに明確にします。
③観光を産業として伸ばすにあたって、阿國

座の経済波及効果や、果たす役割などについて、今後討論会の開催や地域ごとの説明会を開催する予定です。

福代 秀洋

交通マナーアップで住みよいまち



交通事故の撲滅は、なかなか達成できない悲願である。交通ルールの遵守(じゅんしゅ)とマナーの向上が基本だ。しかし、出雲市内の交通マナーは必ずし

も良くないと感じる。また、交通違反もしばしば目にする。市として、現状をどのように把握しているのか。また、市民が幸せに安心して暮らしていける、日本一安全なまちを実現するために、市として、どのような取り組みを行うのか伺う。

総務部長

黄色信号での無理な交差点進入や、強引な割り込みなどで危険を感じ、ひやりとする場面は遭遇すること



市役所前で行われた交通安全啓発活動

があります。出雲市では、交差点での事故が多いことが特徴です。この原因は、安全確認や一時停止をしないことです。根底には、自分中心の考え

車での死亡事故が多いことも特徴です。交通事故件数、運転マナーは、安全安心のまちづくりのひとつのバロメーターです。交通事故のないまちが、住みよいまちづくりにつながるとの信念で、これからも地道な活動を粘り強く実施します。

板倉 明弘

出雲高等技術校の美容科の存続を求める



県立高等技術校の再編整備計画の中で、出雲校の美容科と理容科は、民間の専門学校との役割分担を図るため、廃止する方針が明らかとなった。

特に、美容科の存続を求める声がたくさん寄せられている。県に對し、どのような対応をされるのか伺う。

市長

しかし、同校や松江市にある民間専門学校の入校状況は、定員に對し応募者は常にオーバーしている。廃止されれば、県外の専門学校に行くしかなかく、若者の定住どころか、追いつまず。

この度の再編整備計画を行う最大の理由は、県の財政難によるものだと思います。しかし、単に財政が厳しくなったために改革するのであれば、問題だと思いません。指摘されるように、定員の枠より応募が多いという実態があるな

らば、よく状況を見極めてやっていただけなのか、定員を圧縮するにしても、全部廃止するというのはいかがなものかとの思いがあ

ります。県の努力には敬意を表しつつも、さらなる改善努力を求めています。
ただ、単純に延長、拡大ではなく、技術は



ロットを巻く技術の美容実習（出雲高等技術校）

日進月歩して
います。今後、
ニーズに対応
する体制を整
え、民間の参
画も得てやれ
るような第三
セクター的な
研究、人材養
成機関など、
工夫していた
だきたいと思
います。

杉谷 寿之

どうなる水産市場の建設と運営



市は、水産業総合対策事業や漁港整備をやってきたが、これからの大きな課題は「水産交流プラザ整備事業」である。検討を重ねた結果、大社町に設置し、JFしまねが経営することで、建設の

方向が決定した。水産は、神話観光大國出雲に欠かせないものであり、その投資と経営維持について市民の十分な理解を得てスタートすべきである。
また、水揚げ量を上げるための「築礎事業」

が急がれる。アワビやサザエなど採貝漁業の振興のため、海のほ場整備である「築礎」を県とタイアップし、今こそ着手すべきだ。

市長

観光振興には、やはり温泉と食、その中で魚の文化は重要です。目の前の漁場で自ら確保し、新鮮な魚を提供する体制を築かねばいけません。大社市場に湖陵、多伎の魚を集約して、一元的に扱う市場を建てる計画です。



集荷所で水揚げされた魚の流れ

山根 貞守
出雲市ふれあいサロン事業に積極的な支援を



高齢者の家庭での閉じこもり防止や介護予

防対策として、それぞれの地域で「出雲市ふ

このプラザは約七百平方メートルの施設で、年間六億円の取扱高とみており、今年度以降、設計工事に着手し、両三年内でのオープンをめざしています。管理経費は年五百万円と、集荷費を二千万円見込んでいます。

「築礎事業」は、漁業収入の多角化と安定を図る上で重要な施策であり、整備主体や負担のあり方についてJFしまねや漁業関係者の意見を聞いて、検討します。



ふれあいサロン事業の実施状況

考えです。
湖陵地域では、ボランティアの方には、わずかながらあるが費用弁償が行われている。この費用弁償に対する今後の考え方について伺う。

市長

「ふれあいサロン事業」が実施されている。こうした取り組みが、医療費の抑制や介護保険などへ及ぼす影響は、計り知れないものがある。そこで、次の点について伺う。
高齢化社会を迎えるにあたって、今後この事業を市全体でどのように取り組んでいくか考えか伺う。

市長

この事業は、大変に重要な施策です。今後は、より小さく身近な単位で開催するなど、事業の拡大に取り組み

この事業は、合併前からそれぞれの地域特性を取り入れた取り組みが行われており、多伎、湖陵地域で費用弁償が行われていました。この事業は、高齢者福祉の重要な取り組みであり、同事業を制度化して取り組むべきかどうか、検討します。制度として取り組む以上は、若干の支援は必要と思います。その時は、取り組んだ団体に対して、同じ取り組みをすべきと考えられています。

牛尾 尚義
自治基本条例を
制定すべきではないか



地方分権一括法が施行され、権限が国から地方に移管されている。

地方自治体も国への依存から、自主・自立の方向へ転換せざるを得ない。そのために地方行政が、独自の判断で行える完全自治体としての「地方政府」の確立が求められている。

「地方政府」は、最高規範としての「自治基本条例」を制定し、行政、議会、市民の位置づけ、あり方を明確にし、三者が共同作業により、自治体の向かう方向を定めることが大切である。
住民が参加しやすいルールや仕組みを作った上で「自分たちのまちは、自分たちの意志で作りに上げていくのだ」という自覚と責任を喚起することが必要ではないか。

市長

新市発足後、当面の問題として、時間のかかる理念、基本の枠づくりより、即効性のある施策実現のために、それぞれの行政ラインに沿った諸条例を先行して制定してきまし

た。
四年目の今、それらの条例を縦軸とし、これを横に結ぶ「まちづくり基本条例」を制定する考えです。今後、各方面・各種団体などから意見をいただき進めていきます。
これが提案の「自治基本条例」に相当するものと思えます。そのうえで、でき上がった基盤の上に、どういふ色や線を描くか、基本的な方向づけを行いましたと思えます。

萬代 弘美
幼稚園臨時職員、パート職員の
身分保障と雇用の改善を



国の保育や介護、医療など福祉切り捨て政策のもとで、公的な仕事の中にも不安定な雇用が増加している。出雲市の公立幼稚園では、正規職員とほぼ同数の非正規職員が働いている。非正規職員のほとんどが、幼稚園教諭の免許をもっている専門職員でありながら、短期の雇用契約で将来に不安を抱えてい

る。

子どもたちの成長と発達にかかわる幼稚園教諭が、身分を保障され、安定的に働けるよう早急に改善を求め

る。
①常勤でクラス担任など、正規職員と同じように働いている臨時職員には、昇給も一時金もない。雇用条件の改善および正規職員として雇用を。

②補助教諭やサポート教諭などのパート職員は、勤務時間が短くても正規職員との均等待遇を保障すべきだ。

教育次長

①市内には、公立幼稚園が二十六園あり、その中で臨時職員の担任教諭は二十人です。幼稚園教諭の正規雇用



幼稚園の先生は子どもたちの成長と発達にとって大きな存在

については、公立保育園の民営化の動向を考慮し、市全体の職員体制との整合性を図りながら計画的な採用に努めます。

②補助教諭などのパ

ト職員は、勤務時間が一日五時間以内であり、社会保険の適用基準に該当しません。賃金額などについては、県内他市に比べ高い水準です。

遠藤 力一

伝統的建造物群に指定して
鷺浦地区の活性化を図れ



限界集落の一つである鷺浦地区は、北前船の寄港地で、かつて栄えたところだ。地域おこしの活動も非常に盛んなところで、昨年、島根県が創設した地域力醸成プログラム事業のモデルコミセンとして選ばれている。

鷺浦の町並みは、そっくり昔日の姿が残っている北前船の港町で、日本中探しても見当たらないと言われる。七年前、文化庁建造物課の職員がこの町並みを見て、伝統的建造物群として価値があり、一度調査をして保存をしてはどうかとの話があったようだ。

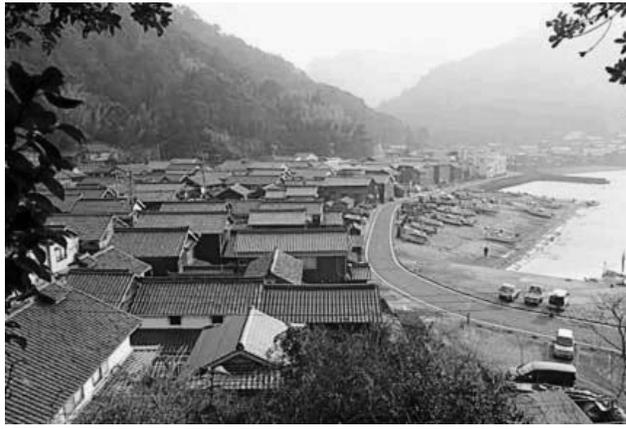
市長

集落を消滅させないためには、内発的發展と地域固有の文化を誇りとする環境が必要だ。過疎対策や観光対策の上から、伝統的建造物群として鷺浦の町を保存すべきだと思いがどうか。

外見上はかなり傷んでいるもの、あるいは連担の町として、伝統的建造物群の面影が少ししかないところもあります。

しかし、残っているものは、立派なものがあります。地区の皆さん全員の同意は、当然得られると思います。それぞれの建物の管

理を日常的にどうして
いくかという仕組み、
そして、この町並みの



北前船でにぎわった鷺浦の町並み

歴史的な建造物群とし
ての価値評価や調査を
もっとやっつけていかな
ければいけ
ないと思
います。私自
身、タイミ
ングを見計
らっていてま
した。早速、
文化庁にこ
のことを相
談してみ
たいと思
います。

※限界集落
過疎化などで人口の半数が六十五歳以上の高齢者
になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難
になった集落。長野大学教授の大野晃氏が提唱。

珍部 全吾

出雲市の景気状況を問う



出雲阿國座建設が、
非常に話題になってい
る。私は、この阿國座
問題の根本は、今の景
気状況にあるという考

えを持っている。「こ
れから、出雲の経済が
どうなっていくのか」
ということに関して非
常に心配している市民

の中から、阿國座を凍
結すべきだという意見
が出てきていると思っ
ている。
市長自身が、出雲の
今の経済状況が果たし
てどういう状況で、こ
れからどういう見通し
を立てているのか何
う。

市長

景気、経済の問題が、
阿國座の問題にも密接
不可分な形として問題
提起されているという
ことは、わかっています。
現在の本市における
景気の動向が底では
なくて、過去、もっと
底だった時がありま
す。戦後最大、最長の
景気拡大期も終わった
というような表現も今
なされている中で、そ

山代 裕始

国道9号バイパス開通による
渋滞と周辺への影響は



国道9号バイパスが
昨年十二月二日に全線
開通したが、開通直後
には渋滞が発生した。
解決策について、次の

四点を伺う。
①国道9号バイパスの
渋滞の現状と対応。
②主要地方道出雲大社
線以西の四車線化の計

の体制に準じて、縮小
均衡でいく訳にはいき
ません。
今、不況の時代になっ
ているが、地域をよみ
がえらせる即効性のある
景気対策を伺う。

市長

出雲は文化の力を
二十一世紀の世界に発
信し、貧しければ貧し
いだけ、出雲の文化、
伝統、音楽芸術、そし
てこの古典芸術、これ
らを守ることが重要で
す。財政が厳しくなる
と、文化、芸術予算を
切るのが戦前からの慣
行です。私は二十一世
紀における新しいまち
づくり、国家戦略とし
て文化を活用すべきだ
ということを訴えて頑
張っていきます。

画と考え方。
③バイパス副道の整
備、周辺道路の拡幅。
④市道渡橋平野線、主
要地方道出雲大社線の
渋滞解決策。

市長

事業効果を早期に発
揮するため、四車線の
うち先行的に二車線が
整備されました。
全線開通直後は、現
国道9号利用者の出雲
バイパスへの大量移動
もあり、一時的に混乱
し、渋滞が発生しまし
たが、現在は通行が安
定してきています。



渋滞が発生する主要地方道出雲大社線

引き続き、バイパス
工事が続けられ、事業
完了は平成二十一年度
の予定です。
副道などの完成が急
務であるとともに、関
係機関で協議を重ね、
案内看板や標識、車線
信号調整などの対策を
検討、実施しており、
渋滞緩和につながる対
策を講じていきます。
また、全線四車線化
が早期に図られるよ
う、国に対して引き続
き強く働きかけるとと
もに、副道などの早期
整備、工事中の南北道
路が完成す
ることによ
る車の分散
化で、交通
量が安定化
することを
期待してい
ます。

視察報告

『神戸川河川敷利用』はいかにあるべきか

平成19年12月18日～20日

神戸川河川敷を想定し、高水敷は市民にとって有用な存在であり、財産であることを認識し、事に当たらねばなりません。通常のスポーツやレクリエーション施設は当然のことながら必要であり、景観上からも設置、有効利用しなければなりません。



淀川河川公園 (写真提供:国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所)

り、親水性の風景ならびに、ワンド(入り江)を含め、魚類などの生育も視野に入れた施工でなくてはなりません。

淀川高水敷利用は、国定公園の指定事業で

あり、規模からいっても当地とは比較になりません。ただ、国交省が出雲における事業を展開している間に、高水敷利用計画をできるだけ早く策定しておくべきだと思います。公

園やスポーツ関連施設の設置は、誰がどのような責任体制と費用負担で行うかなど、余裕をもって早期に議論して成果を得ておかねばならないと考えます。(杉谷 寿之 記)

総務委員会

『市民の生命財産を守るために』

平成20年1月22日～23日

乙訓(おとくに)消防組合は、京都府の日向市、長岡京市、大山崎町の二市一町で構成されています。

エリア内の人口は、十四万九千人で、出雲市とはほぼ同じですが、面積は約三十三平方キロメートルで出雲市の七分の一です。

この面積の違いを思い知らされるのが、救急自動車の数の違いです。出雲市では、高規格救急自動車が十一台配備されているのに対し、乙訓消防組合ではわずか四台ですが、十分足りており、現場到着時間も早いというこ

とでした。

考えてみると、救急車一台あたりの面積は出雲市(斐川町含む)五十七平方キロメートルに対し、乙訓消防組合ではわずか八平方キロメートルです。

また、分署を含めた消防署の数も四署です。従って、一署あたりの面積も八平方キロメートルです。

出雲市(斐川町含む)でこの数値を当てはめると、消防署、救急車とも七十六署・台となります。消防・救急で大切なことは、いかに早く現場に到着するかですが、これは、現場

と消防署の時間距離にかかってきます。この短縮に向けて、出雲市としてもさらに努力を

しなければならぬと感じました。(福代 秀洋 記)



乙訓消防組合の指令室を見学

議会運営委員会

『今、議会運営に何を求めるか』

平成20年1月28日～30日

一月二十八日より三日間、三重県伊賀市、四日市市、愛知県豊田市の議会を訪問し、それぞれの特色ある議会運営について研修しました。

伊賀市議会は、全国の市議会に先駆けて平成十九年三月に「議会基本条例」を制定し、

その中で議員間の政策討論を義務づけ、互いに切磋琢磨することによって議会の質を高めていく工夫が盛り込まれていました。

四日市市議会では、議長は、立候補制により公約を掲げて選挙を行っており、その結果、新しい政策を次々に取

り入れて改革を進めています。議会モニター制度の導入も、この公約によって誕生したもので、市民との意見交換の場を設けることにより、市民参加の実現を促し、意見を市政に反映させる道筋が作られています。

別委員会を設置して全議員が審査に加わり、軽微なものについては、分科会で分割審査する方法をとっています。出雲市議会も、予算審査については、いろいろ意見もあり、今後の参考にすべき点としました。

(牛尾 尚義 記)



四日市市議会

文教厚生委員会
『ひとり親家庭支援策(父子家庭支援)を
先進地に学ぶ』平成20年2月6日～7日

昨年十二月議会に、父子家庭の窮状を訴える陳情があり、父子家

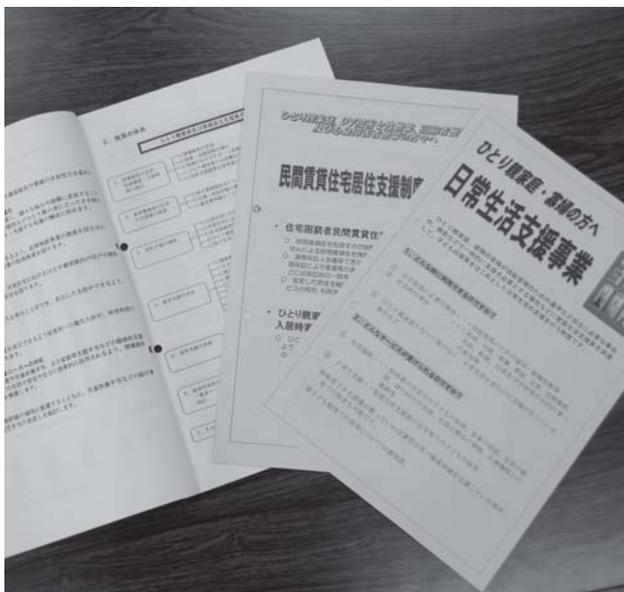
庭への対策の重要性を感じ、先進地への視察を行いました。

千葉県野田市は、全国の中でもいち早く父子家庭対策に取り組みられています。母子家庭、父子家庭ともに厳しい生活状況にあり、父子家庭に児童扶養手当が支給されないことは不合理との指摘があり、市単独事業として児童扶養手当と同様の手当が創設され、平成十五年から実施されています。

ドメスティック・バイオレンス被害の女性も、必要に応じて母子家庭とみなして、ひとり親支援策の対象とされています。

全国的にも珍しい居住支援策として、民間賃貸住宅への入居に際し「民間賃貸住宅入居時家賃等助成事業」も実施され、手厚い支援がなされています。また、住宅に困窮する、ひとり親家庭に対するの公営住宅の確保もされています。

(勝部 順子 記)



体系的にまとめられたひとり親家庭支援策



両市の課題について議論

『釜山広域市南区議会視察研修報告』

韓国訪問団員 直良 昌幸

二〇〇一年一月、旧出雲市と、近くて遠い国、韓国の釜山広域市南区(人口二十九万九千人)の議会と交流覚書の調印をして、以来八年が経過しました。

合併後、新市として新たに再調印をし、昨年新庁舎の整備がされた南区議会へ、今岡一朗議長を団長として七名のメンバーで訪問しました。両議会の交流の様子を、釜山広域市をはじめ広く大きな

訪問翌日の釜山日報の新聞記事を引用し、報告します。「議員さん、海外研修の手本にしてください」というタイトルの記事です。両議会共通のテ

マ(産業・環境・教育)を設定し、南区議会より、教育人材育成事業の推進、区内のアスベスト埋め立て問題の対策、UN平和博物館設立と平和特区指定についての主題発表がありました。

出雲市議会からは、大社門前まちの再生、ブラックバス対策、児童の放課後対策を主題に発表。その後、予定時間を大幅に延長して、質疑応答を行いました。

した。
今回の議会運営の討論会は、お互いの議会を比べてみる良い機会です、今までは違う相互交流活動の手法になったと思います。
(韓国国際交流員 徐 智 英さん記)

団 長 今岡 一朗
団 員 寺田 昌弘
直良 昌幸
川上 幸博
多々納剛人
萬代 輝正

高松小6年生のみんなが議会を見学

三月六日、高松小学校の六年生八十人が、総合学習として出雲市議会の見学に訪れました。見学後、感想を送りいただきましたので、そのうちの一部を紹介いたします。

●実際に市議会を見学して、わたしが思ったことは、市議会ではいろんなことを話し合おうと一生けん命な

んだなあということですね。会議しておられる所に行くのは初めてだったし、テレビにもうつるし、ドキドキでした。議員さんたちには、これからもがんばってほしいです。
●今まで市議会が何の働きをしているのかなど全然知りませんでした。でも、この見学を通して市議会が出雲市民にとってとても大事な役目をしていると知

りました。

●初めて市議会の見学をし、出雲市は議員の人たちや委員会の人たちの力でいろいろな建物などがつくられているんだなあと思いました。私たちの意見などがかなうのは、議員さんたちのおかげだと思います。議員さんについて質問し、それについて市長さんが答えるという流れで、これからの出雲市をよりよくするためにいろいろなことを質問しておられました。これからの出雲市を議員さんや市長さん

と話し合っって今よりもよりよい市にしたいです。ぼくは初めて本会議を見ました。議員さんたちは、ひと言もしやべらず、真剣に人の話を聞いていてすごいと思いました。ぼくたちの見ていないところで、みんなが豊かに生活できるよう工夫していることが分かりました。ぼくはすごくいい会議が見れてうれい

です。
これらの感想のほか、市議会について調



高松小学校6年生が傍聴

べたことなどを一人ひとりが「出雲市議会新聞」としてまとめてくださいました。ありがとうございました。

編集後記

新出雲市が誕生して、三年が経過しました。私たちが市議会議員として、四年任期の最後の年度に当たる平成二十年度当初予算などが上程された三月定例議会でありました。

市長の施政方針に対して、九人の会派代表質問に始まり、十八人による一般質問が行われました。活発な討論の末、三月十七日全議案が可決され、三月定例議会が終了しました。

三十四名の議員は、残された一年間、それぞれの地域特性を生かしながら、一日も早い新市の一体感の醸成に、一生懸命努めてまいります。

〈山根 貞守 記〉

議会に関する問い合わせは

〒693-8530 出雲市今市町109-1

出雲市議会事務局

電話(0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720

ホームページ <http://www.city.izumo.shimane.jp/>

出雲市ホームページの中の [出雲市議会](#) をクリック

メール gikai@city.izumo.shimane.jp

広報委員

委員長	勝部 順子
副委員長	松村 豪人
委員	山根 貞守
委員	萬代 輝正
委員	板倉 一朗
委員	石川 寿樹
委員	高野 成俊
委員	広戸 恭一
委員	小汀 英久
委員	板倉 明弘
委員	杉谷 寿之
委員	宮本 享
委員	今岡 一朗